

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉 平成19年2月 (第5～8週)

発行年月日：平成19年(2007年) 3月 19日
 発行 行：滋賀県衛生科学センター内
 滋賀県感染症情報センター
 電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 19年				平成 18年		感染症 類型	疾 病 名	平成 19年				平成 18年	
		1月		2月		1～12月				1月		2月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	デング熱	0	1	0	6	0	57
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	0	0	0	45	
	痘そう	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	7	
	ペスト	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	
二類	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0		ブルセラ症	0	0	0	0	5	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0		発しんチフス	0	0	0	0	0	
	コレラ	0	1	0	1	1	47		ポツリヌス症	0	0	0	1	2	
	細菌性赤痢	0	42	0	38	16	483		マラリア	0	0	0	3	61	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0		野兔病	0	0	0	0	0	
	腸チフス	0	3	0	0	0	72		ライム病	0	0	0	0	13	
三類	パラチフス	0	1	0	3	0	24		リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	56	2	49	54	3,910		レジオネラ症	1	28	0	26	11	508
四類	E型肝炎	0	2	0	4	2	70	五類	レプトスピラ症	0	0	0	1	0	24
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0		アメーバ赤痢	1	50	0	49	8	738
	A型肝炎	0	7	0	25	21	316		ウイルス性肝炎	0	7	0	17	0	275
	エキノコックス症	0	1	0	1	0	20		急性脳炎	0	8	0	16	1	160
	黄熱	0	0	0	0	0	0		クリプトスポリジウム症	0	1	0	0	0	14
	オウム病	0	1	0	2	0	22		クロイツフェルト・ヤコブ病	0	6	1	15	0	177
	回帰熱	0	0	0	0	0	0		劇症型溶血性 レンサ球 菌感染症	2	12	0	8	6	107
	Q熱	0	0	0	3	0	2		後天性免疫不全症候群	0	57	0	118	8	1,301
	狂犬病	0	0	0	0	0	2		ジアルジア症	0	3	0	1	1	87
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0		髄膜炎菌性髄膜炎	0	1	0	0	0	14
	コクシジオイデス症	0	0	0	1	0	2		先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0		梅毒	0	24	0	37	4	625
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0		破傷風	0	1	0	7	1	115
	炭疽	0	0	0	0	0	0		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	27	0	8	0	397		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	4	0	10	0	79

滋賀県における全数報告 感染症の概要(2月)

<腸管出血性大腸菌感染症>

散発事例:2名(患者)

性別 男性1名、女性1名

血清型および毒素型

O157 VT1・VT2 2名

2名とも推定される感染経路は経口感染、推定される感染地域は日本国内です。年齢は23歳および54歳です。

<クロイツフェルト・ヤコブ病>

男性・66歳

病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病です。推定される感染経路は不明で、感染地域は日本国内です。

*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含む

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、基幹定点に分かれています。

2月の概要

<インフルエンザ>

第5週(1/25~2/4)以降も急増傾向は持続し、第6週(2/5~2/11)には東近江以外で注意報発生基準値の定点当たり患者数 10.00 を超えました。県は県内全域にインフルエンザ注意報を発令しました。また、第8週(2/19~2/25)には草津および甲賀で警報発生基準値の定点当たり患者数 30.00を超えました。第1~8週の保健所管内別の発生状況は下記のグラフに示すとおりです。

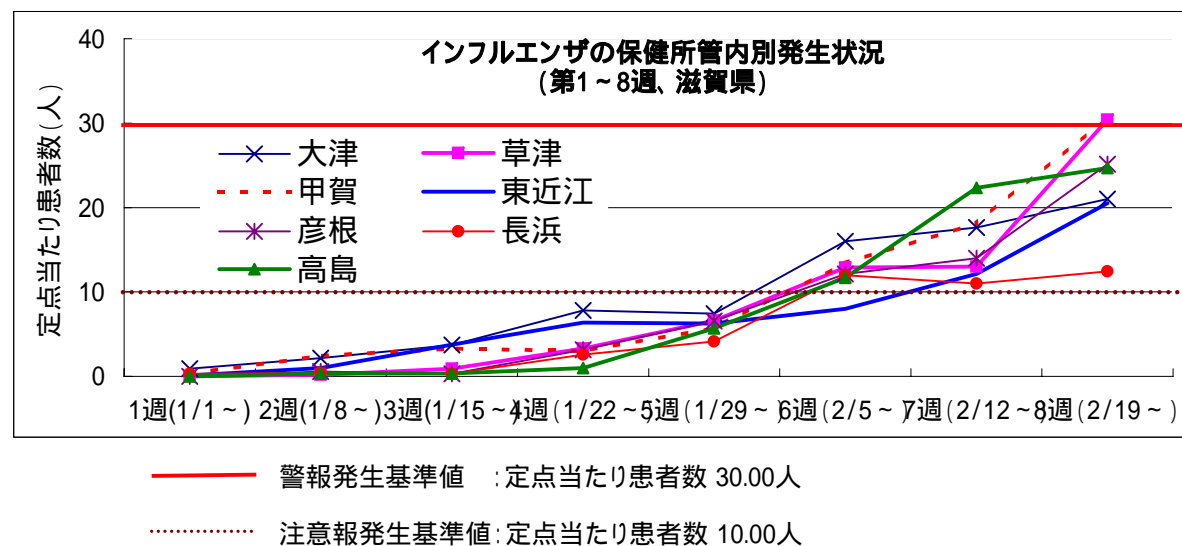
<小児科定点疾患>

百日咳以外の疾患は先月より減少または横ばいとなっていました。水痘については第5~7週に東近江で警報発生基準値(定点当たり患者数 7.00)を超え、第6週には長浜で注意報発生基準値(定点当たり患者数 4.00)を超えました。また、伝染性紅斑については第5~6週に彦根で、第5~7週に高島で警報発生基準値(定点当たり患者数 2.00)を超えました。

百日咳については第5週に草津から報告されていました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である急性出血性結膜炎は高島からの報告が先月よりやや多くなっており、流行性角結膜炎はやや減少していました。基幹定点疾患であるマイコプラズマ肺炎は先月より減少していますが、長浜からの報告が多くなっていました。



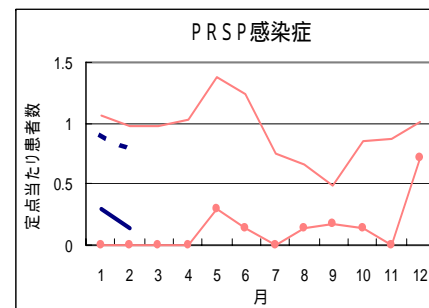
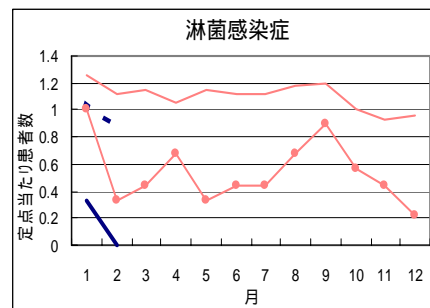
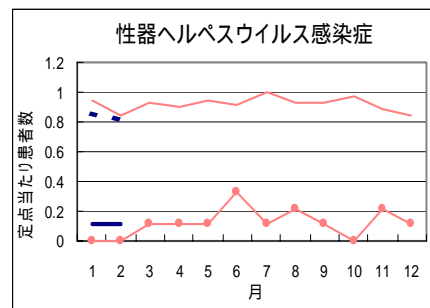
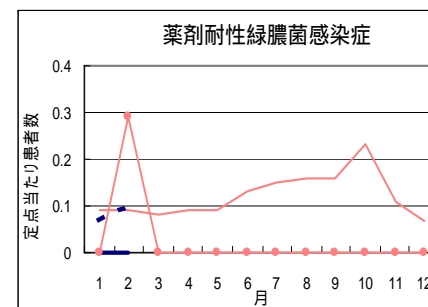
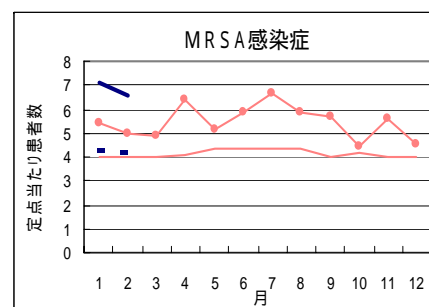
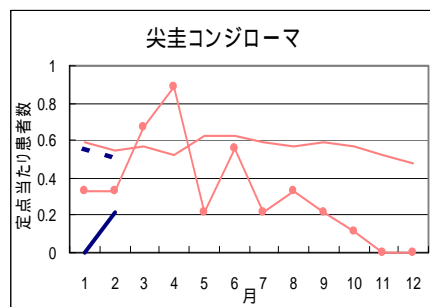
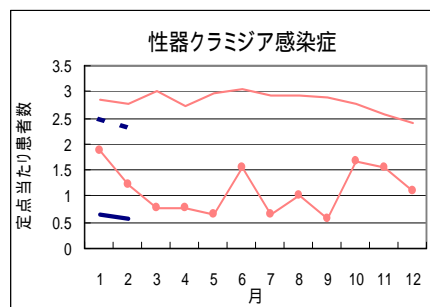
<各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳、突発性発しん、ヘルパンギーナ、風しん(三日はしか)、麻しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、成人麻しん、クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成19年2月)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	5											11
	定点当たり	0.67	0.56											1.23
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	1	1											2
	定点当たり	0.11	0.11											0.22
尖圭コンジローマ	罹患数	0	2											2
	定点当たり	0	0.22											0.22
淋菌感染症	罹患数	3	0											3
	定点当たり	0.33	0											0.33
MRSA感染症	罹患数	50	46											96
	定点当たり	7.14	6.57											13.71
PRSP感染症	罹患数	2	1											3
	定点当たり	0.29	0.14											0.43
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0											0
	定点当たり	0	0											0



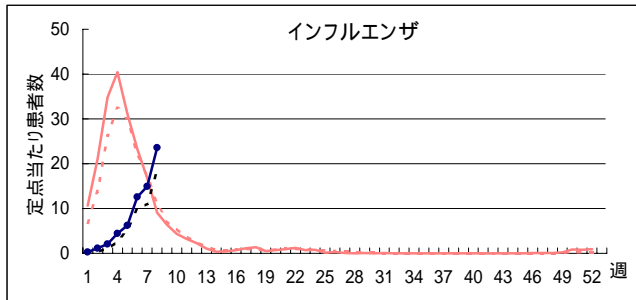
戻る

- H18 { 滋賀 ●—●
- { 全国 ———
- H19 { 滋賀 ———
- { 全国 ●—●

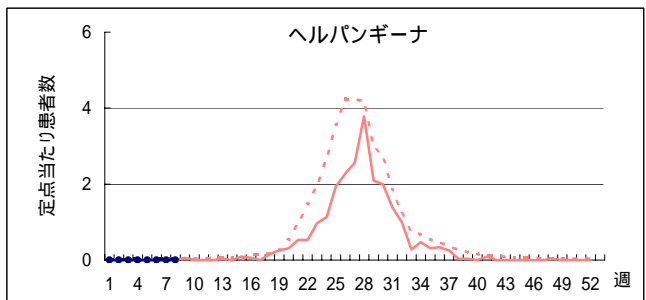
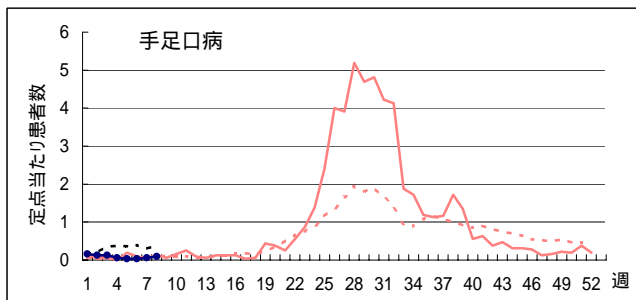
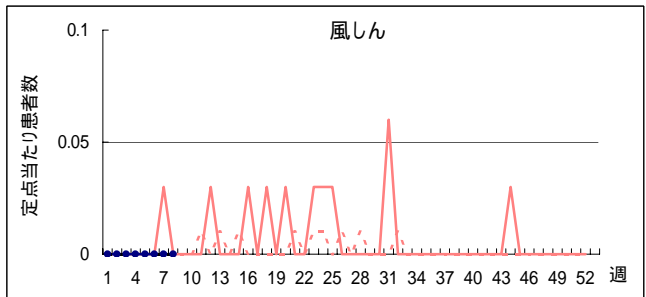
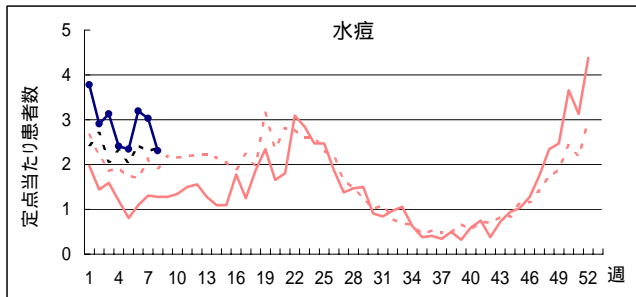
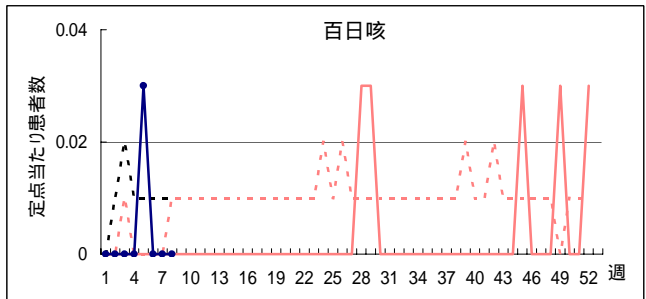
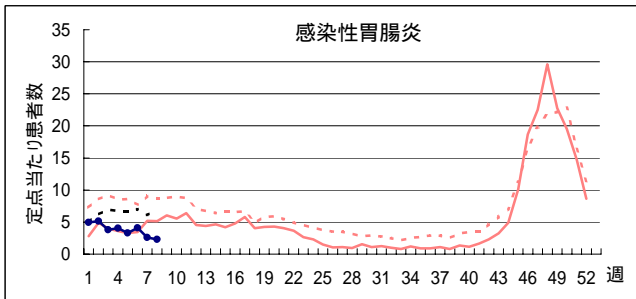
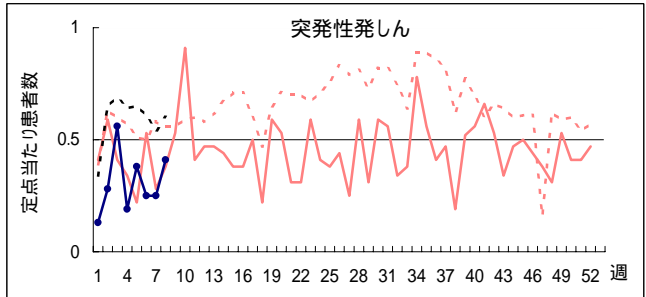
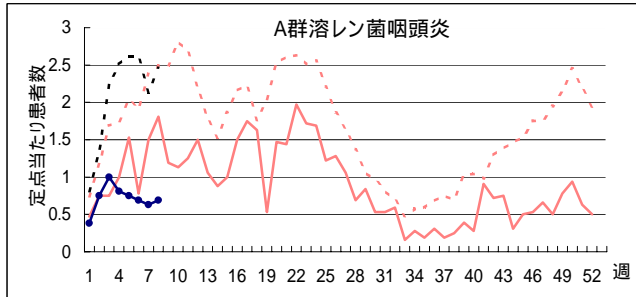
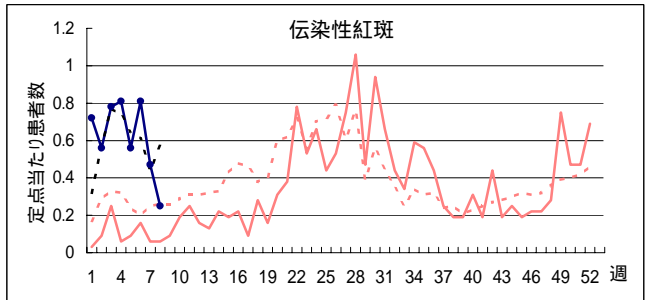
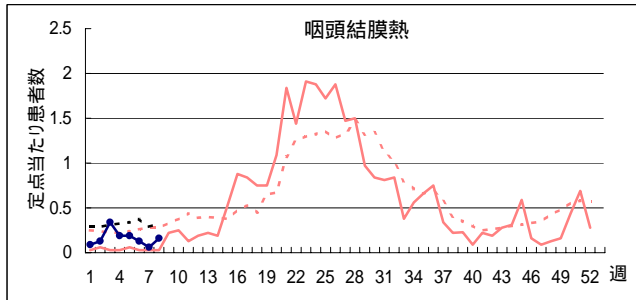
MRSA: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌

PRSP: ペニシリン耐性肺炎球菌

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第8週、H19.1.1～H19.2.25)



H18 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第8週、H19.1.1～H19.2.25)

H18 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

